

令和6年 3月18日

令和5年度地域おこし協力隊実績報告書

余市町長 様

余市町地域おこし協力隊員 榎木 勝巳

令和5年度余市町地域おこし協力隊の活動内容について、余市町地域おこし協力隊設置要綱第8条第2号の規定により、その実績として関係書類を添えて報告致します。

令和5年度も観光協会物販店舗用新商品開発、販売と催事の企画、PR、実施を主に活動しました。

1. 令和5年度の主な活動内容

(1) 新商品開発と販売

4月末～11月上旬

○「よいちのお菓子コーナー」をエルプラザと道の駅に新たに設置し

町内4つの事業所と余市産食材を使用したスイーツを販売

○4月末より余市産りんごを使用した「よいちりんごケーキ」を発売開始



町内4事業所が参加した「よいちのお菓子コーナー」4月中旬から11月上旬まで設置。余市産の果物も食材として使われています



宮野果樹園のりんごを使用して製造した新商品。1番人気のおみやげになりました

○新コーナーと新商品をHTB北海道テレビなどで有料広告出稿および取材対応



2023年4月26日北海道新聞・朝刊広告出稿



2023年4月29日北海道新聞朝刊・小樽/後志面



2023年5月からHTB北海道テレビ youtube チャンネルで公開中。地上波「イチモニ！」でも告知いただく

9月中旬～10月中旬

○新藤観光農園の希少なぶどう「紅伊豆」を使用し、日々菓子店とコラボして完成した新商品スイーツ2種のPR



2023年9月21日北海道新聞朝刊・小樽/後志面

12月～2024年3月

○「北海道余市ひる貝カレー」企画、製造、販売PR

2023年10月から、下國 伸シェフに監修を依頼し、余市町民には馴染み深いひる貝を使用したレトルトパックカレーの企画、製造を行いました。漁獲量が減り希少な貝となったひる貝を余市漁業協同組合に確保してもらうのが一番大変でしたが、なんとか半年をかけて2024年3月21日よりご当地カレーとして発売をすることができました



札幌の食品会社で、下國シェフと試食会の様子



余市町民のソウルフードをレトルトパックにしました



2024年3月16日北海道新聞朝刊・小樽/後志面

○南保留太郎商店の燻製甘えびを使用したせんべいの企画、製造、販売PR準備

これまでスイーツ系の商品をおみやげ箱菓子や地元事業所とのコラボで展開してきましたが、新たに南保さんの燻製甘エビを使用したせんべいを開発し、2024年GWからの発売予定しています



昨年開発し、1番人気のおみやげ箱菓子となった「よいちりんごケーキ」製造メーカーとの開発企画第2弾の新商品です。しょっぱい系のやめられない、止まらないスナックせんべいです。

○エルプラザ限定アップルパイ新商品開発、販売PR準備

3月30日（土）、31日（日）先行発売。繁忙期のエルプラザの話題作りおよびアップルパイのPRを兼ねた4月27日（土）からエルプラザにて土日祝日の数量限定で発売するりんごの甘煮2倍を上下パイ生地で挟んだ「アップル倍」の開発、販売PR準備



エルプラザとアップルパイのPRを兼ねた限定品

(2) 催事への積極的参加

1、さっぽろテレビ塔（7月、9月）

余市産（さくらんぼ、ぶどう、りんご）の販売



7月のさくらんぼ販売



9月末の希少品種ぶどう販売の様子

2回の開催ともHBCラジオ番組での告知効果で行列ができて盛況に終わりました

2、鹿児島山形屋（11月）

今年はアップルパイの実演販売とりんごジュースやドライりんごなどりんご関連
関連商品も販売しました



催事3日目からは午後に焼きが間に合わず個数制限（1人2個まで）を付けて販売する時間帯
もあり今回も鹿児島のお客様には喜んでいただくことができました

3、札幌地下歩行空間（11月24日、25日）：余市商工会議所主催の催事

“余市の魅力”をPR リンゴやにしん漬け 特産品販売会 多くの人
でにぎわう 札幌市

11/24(金) 12:11 配信

STV NEWS

余市の魅力をチカホでPR
ワインに漬物 特産品即売会

STV NEWS

STVニュース北海道

人通りの多い札幌市の地下歩行空間で、マチの魅力PRしようと、余市町の特産品が並んだ展示即売会が行われています。

マチ自慢のリンゴはもちろん、冬の味覚の代表格・にしん漬けも。

札幌市の地下歩行空間では、後志の余市町の特産品展示即売会が開かれ、多くの人で賑わっています。

地元の果樹園や水産加工会社などの担当者が店頭に立ち、余市の自慢の味を対面形式で販売しています。

札幌から車でおよそ1時間のところにある余市町は、日本海に面して緩やかな丘陵地に囲まれた立地が特徴です。

自然の恵みを生かした農産物や水産加工品の販路の拡大も狙って即売会を開いています。



HBCラジオでの告知のほか、STV札幌テレビの取材も入り告知効果で2日間ともたくさんのお客様に来ていただきました。今回の特記事項はりんご150個が1時間経たず売切れとなったことと、商品数が増えたYoichi タータングッズは昨年の約4倍の売上げとなり、2日間の総売上も昨年の約2倍上げることができました

(3) 全国旅行支援クーポン活用

- 「ほっかいどう応援クーポン」を物販3店舗で利用登録
- トラブル対応、換金手続き、クーポン利用先の宿泊施設や旅行会社の集計
- 分析を通じた店舗運営の改善策の提案

HOKKAIDO地域限定クーポンのご利用方法

1

クーポンを受け取る

HOKKAIDO地域限定クーポンは、利用施設により紙または電子どちらかの形式で配布されます。チェックイン時に電子クーポンでの受け取りを希望された場合は、STAYNAVIアカウントへ直接配布されますので、STAYNAVI内の「地域クーポン」ページをご確認ください。

電子クーポンに切り替えて便利に使おう！

- STAYNAVI サイト内から取扱店を検索できる！
- 友人・家族へのシェアも楽々！

会員登録・ログインはこちら

電子クーポンの切り替えには会員登録が必要です。QRコードを読み取ってサイトへアクセス。

2

クーポンを取扱店で使う

取扱店のポスター・ステッカーを探そう！

STAYNAVIサイトからもお店を検索できます。

電子クーポンを利用

STAYNAVIの「地域クーポン」ページへアクセスしてください。会計時に、店員スタッフに「HOKKAIDO地域限定クーポンを使いたい」と伝え、店頭に置いてあるQRコードを読み取りご利用ください。
ご利用の際は、お店の方へ必ず決済済画面を提示してください。

紙クーポンを利用

店員スタッフに「HOKKAIDO地域限定クーポンを使いたい」と伝え、クーポンのQRコードが印刷された台紙をご提示ください。**紙クーポンにのみ対応している店舗でのみ利用できます。**

2023 年 1 月から商品券のようなクーポンから携帯などに取り込む電子クーポンに変更となり当協会 3 店舗は紙のままのクーポンと電子クーポンが利用できる申請をした。近隣の道の駅などの観光施設では紙クーポンが使えないところが多かったのも、その恩恵を受けることができたと思います

(4) 鹿児島山形屋商談会初開催

- 8 月 31 日（木）エルプラザ展示ホールにて鹿児島山形屋バイヤー10 名を迎え町内食品製造、加工事業者 8 組に札幌から 1 組の全 9 組が商談会に参加した。中井観光農園のりんごジュース 6 ケース、72 本が鹿児島県内山形屋の 12 月に開催の催事で販売されました

鹿児島島の百貨店と商談会

余市観光協 町産品の販路拡大狙い

町内で初めて開かれた老舗百貨店「山形屋」との商談会

【余市】余市観光協会は、鹿児島市の老舗百貨店「山形屋」と町内の食品製造加工事業者らが集う商談会を、JR余市駅隣の町観光物産センター・エルプラザで開いた。町産品の販路拡大を狙った初めての試みで、参加者は余市を離れた同店のバイヤーに商品の魅力をPRした。

同協会によると、町内で道外店との商談会開催も初めて、山形屋は道ながら全国の百貨店で開催する「北海道の物産と観光展」を年々回っており、最大規模の売り上げをあげている。昨年の同展に余市観光協会が出展したのをきっかけに、バイヤー10人が8月31日に来町した。

余市からは中井観光農園などの事業所が参加し、りんごジュースやサケ、ニシンの加工品などを売り込んだ。また、まとまったファミリーの佐藤衣衣代表は「自社で販路拡大するのは難しい」と期待、山形屋の担当者は「北海道の地方には知られていない味覚や食材がある。余市の魅力を発信したい」と意気込んでいた。

（伊藤圭三）

16日に演劇公演

ファンタジー・ラボ

【蘭越】蘭越町演劇サークル主催の公演「RINKO SHI LAB ランコジラビ」2023が16日午後7時から町民センター（町蘭越町43）で開かれる。「蘭越演劇祭」が町在住の劇作家選んだけさん脚本・演出の「くじろしがいい」、札幌の若手劇団

島牧の魅力再発見を

カレンダ

【島牧】島牧商工への掲載写真を決めたのは「島牧の自然風知弘部長は、村の目を再発見してもいい呼びかけている。村内の美しい景色に続き、10年に続いた島牧100年が審査し入選

2023 年 9 月 14 日北海道新聞朝刊・小樽/後志面

(5) 映画撮影への協力

○2024 年 9 月公開予定の映画撮影に協力

○監督およびプロデューサーとロケハン同行、施設使用許可申請、エキストラ探し

○撮影時の約 30 人分の弁当を町内飲食店 2 店舗に発注した。



監督のイメージにピッタリだった余市運動公園野球場

2. まとめと次年度の活動予定

新商品の開発と販売、催事参加、旅行支援クーポンの活用、映画撮影への協力などを通して、余市町の観光振興および地域活性化に寄与してきました。最終年度の令和 6 年も地域資源の有効活用を行い観光協会の売上アップに貢献できるよう引き続き活動したいと思います